

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

令和6年5月31日
新潟県農林水産部

〔5月30日現在の県内全域の生育概況〕

- ◎ コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」の状況です。
- ◎ 新之助では指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」状況です。

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- ◎ 5月30日発表の1か月予報（6月1日から6月30日）では、平均気温はほぼ平年並み、降水量はほぼ平年並み、日照時間はほぼ平年並みと予想されています。気温は1週目で低く、3～4週目で高くなる見込みです。また、5月21日発表の3か月予報（6月から8月）では暖かい空気に覆われやすいため、気温は高いと予想されています。
- ◎ 県の調査ほ（田植日の平均は5月12日）における生育状況では、今年の中干し^{*1}開始適期は田植後33日と予測されます。適期より中干しが5日遅れた場合、茎数は目標値の1.4倍に急増すると予測されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔今後の管理対策のポイント〕

コシヒカリ

- ◎ 連休植えのほ場や生育の早いほ場はまもなく中干し開始時期です。
- ◎ 夏季の高温に備えて適切な生育量にするため、田植後25日を過ぎたら生育を必ず確認し、適期に中干しを開始するとともに、溝切りを確実に実施し、中干し効果を高めてください。
- ◎ 地温の上昇にともない、田のワキ^{*2}の発生が多くなることが予想されます。生育が遅れ、ただちに中干しに入れないほ場では夜間落水等によるガス抜きを行い、根腐れや生育停滞を防止しましょう。

新之助

- ◎ 補植苗はいもち病の伝染源となるため、ただちに除去してください。
- ◎ 目標穂数の7～8割の茎数を確保したらただちに中干しを開始し、過剰生育を防ぎましょう。特に、新之助は茎数が急増しやすいため、中干し適期を逃さないよう注意しましょう。
- ◎ 5月20日以降の田植えでも、気温の上昇により茎数の急増が予想されるため、分けつの発生状況に十分留意し中干しの開始が遅れないようにしてください。

*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

- ◎ 今後の管理対策発信予定日 6月11日・7月2日・11日・19日・26日、8月21日・30日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（5月30日現在）

コシヒカリ

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	24 cm	23 cm	並	104%
茎数	84 本/m²	91 本/m ²	やや少ない	92%
葉数	5.0 葉	4.8 葉	並	+0.2 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月12日、栽植密度16.9株/m²）

新之助

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「やや遅い」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	19 cm	24 cm	短い	79%
茎数	69 本/m²	80 本/m ²	少ない	86%
葉数	4.1 葉	4.7 葉	やや遅い	-0.6 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月18日、栽植密度16.6株/m²）

こしいぶき（参考）

- 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	21 cm	22 cm	やや短い	95%
茎数	94 本/m²	124 本/m ²	少ない	76%
葉数	5.2 葉	5.4 葉	並	-0.2 葉

注1) 化学肥料栽培。田植え5月10日、栽植密度18.1株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2 気象感応ほの生育から見たコシヒカリの中干し適期の予測（5月30日現在）

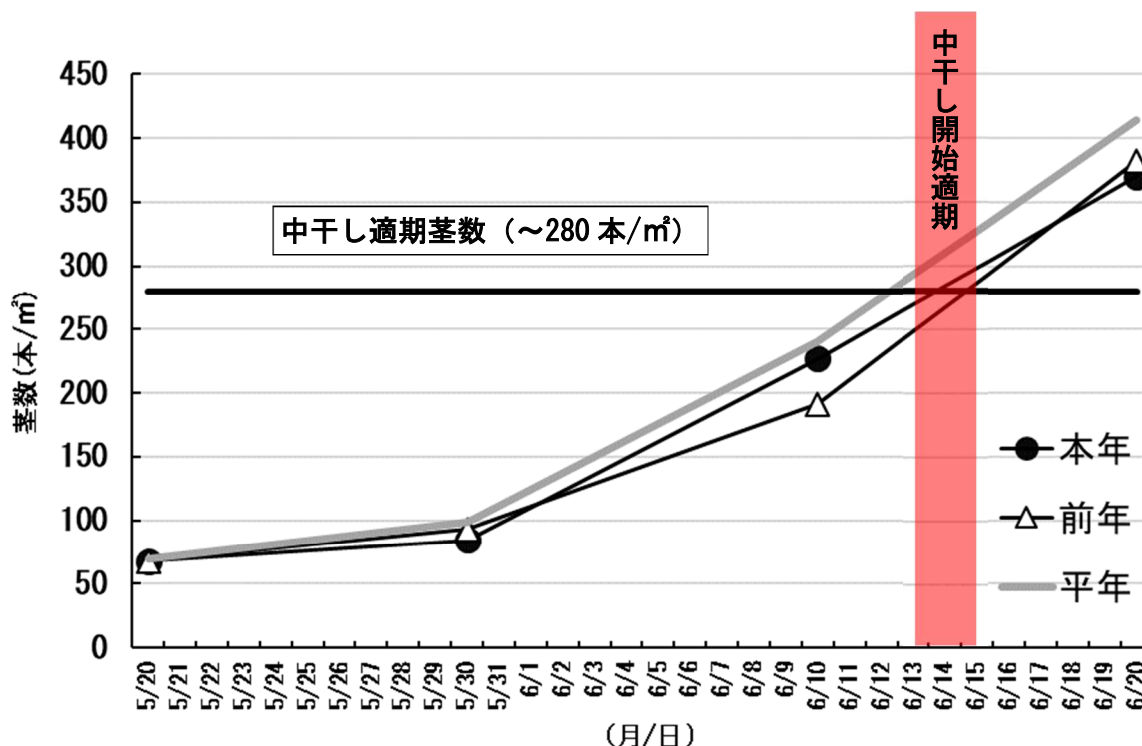
- コシヒカリの目標穂数 350 本/m²の 70～80%（茎数で 240～280 本/m²、50 株/坪植えて 1 株あたりの平均茎数 16 本程度）となる中干し適期は、5 月 30 日現在の予測値で 6 月 14 日、田植後日数は 33 日となっています。

（1）コシヒカリの中干し適期の予測（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

項目	播種期 (月日)	田植日 (月日)	栽植密度 (株/m ²)	5/30 茎数 (本/m ²)	中干し開始適期予測	
					月日	田植後日数
本年	4 月 17 日	5 月 12 日	16.9	84	6 月 14 日	33
前年	4 月 17 日	5 月 11 日	16.9	93	6 月 14 日	34
平年	4 月 18 日	5 月 12 日	17.2	99	6 月 12 日	31

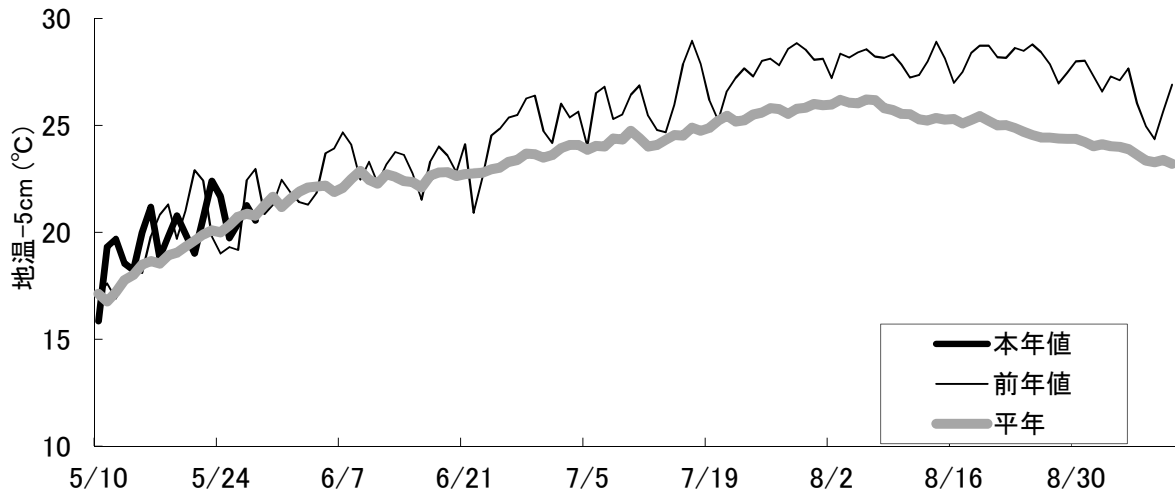
注 1) 本年は、2001～2020 年のデータから予測式を作成、本年 5 月 30 日現在の茎数と 6 月 10 日までの平均気温（メッシュ農業気象データの気温予測に基づく）から、中干し適期(280 本/m²となる時期)を予測
 注 2) 前年及び平年（過去 10 年の平均）は、茎数の実績から予測

（2）コシヒカリの推定茎数の推移（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

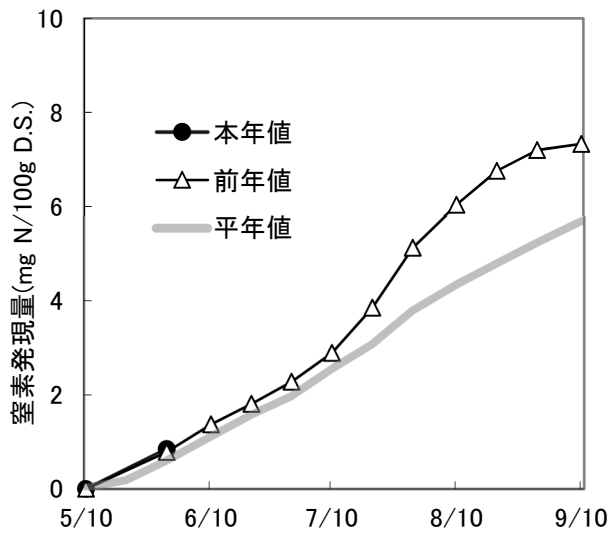


3 ちりょく 地力窒素の発現状況

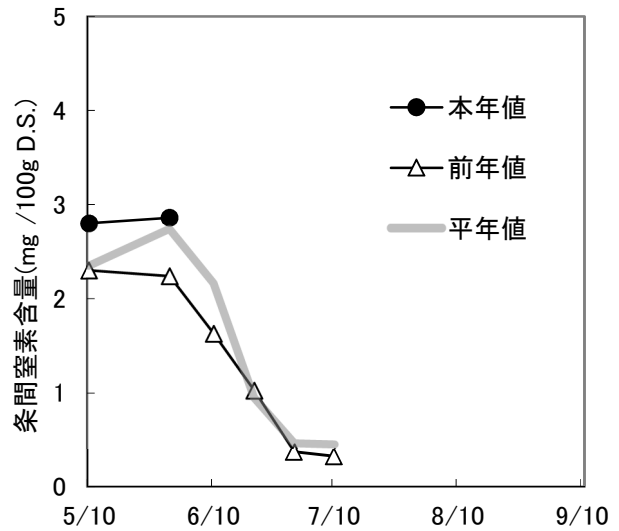
- 5/10～5/27 の期間の日平均地温は平年差+0.8℃で平年並みに推移しました。この期間の地力窒素発現量は平年並みでした。条間窒素含量は 5/10 時点で平年よりもやや高く、5/27 時点では平年並みとなっています。



水田地温（5 cm 深）の推移
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)



地力窒素発現量の推移(5月28日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
初期値=0、田植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(5月28日)
(農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査)
田植日：5月10日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a